

いちご「栃木i37号」について

平成30(2018)年11月
農政部

いちごの消費拡大につながる、作りやすく、食べやすいいちごを開発したことから、「栃木i37号」として品種登録の出願を行ったところ、11月13日に農林水産省から出願公表となった。

これにより、育成者権が保護されることから、今後、生産現場における栽培試験と実際の流通販売によるマーケット調査を実施し、生産者や流通業者、消費者などからも高い評価が得られた場合は、普及品種として決定し、商品名を付けていく。

品種の概要

- 酸味が少なく、甘さが際立つ。
- 耐病性(萎黄病)に優れるとともに、収穫始めが10月下旬と早く、収量が多い。
- 切り口はへた部分がくぼむハート型である。

栃木i37号



表 栃木i37号の果実品質及び収量

品種名	1果重 (g)	糖度 (° Brix)	酸度 (%)	硬度 (gf/φ2mm)	可販果収量 (g/株)	うち年内 (g/株)
栃木i37号	20.5	9.9	0.47	64.0	874.5	195.5
とちおとめ	15.7	10.0	0.62	61.5	655.5	158.0
スカイベリー	30.4	9.0	0.53	62.9	1085.0	169.0

今後のスケジュール

